

語学能力左が力ギ

脳「下前頭回」大きいと好成績

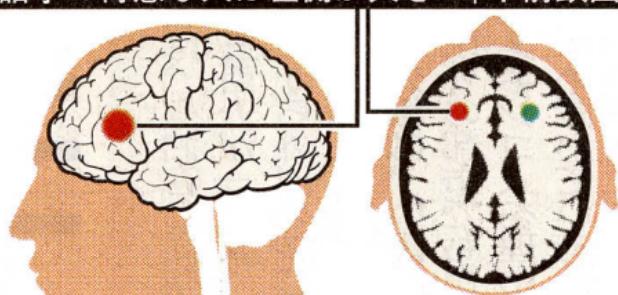
英語などの外国語が
得意な人は、脳の前頭
かぜんとう
発表した。

「分からぬ」と話している。

葉にある左右の「下前頭回」のうち、左の方が右に比べて大きいとする研究結果を、酒井邦嘉・東京大准教授（言語脳科学）らのチークは、中学一年の初めに初めて。酒井准教授は「この部位が発達しているから語学ができる英語を勉強している人と、小学生のころから英語圏以外の国からの留学生十七人（成人）の脳の形状を磁気共鳴

画像装置（MRI）で精密に計測した。

この傾向は日本人と留学生の間や、性別による違いはなかったため、語学能力などの個人差に關係していると判断した。



などに関連する課題に答えてもらい、成績と脳の形状を比較。言語の文法的な処理をつかさどると考えられていて、左側の下前頭回の体積が、右側に比べて大きいほど成績が良いことを発見した。